

## 国土地理院コンプライアンス・アドバイザー委員会議事概要

1. 日 時 令和2年3月16日(月)  
 2. 場 所 国土地理院 特別会議室  
 3. 委 員 委員長 出口 正義 筑波大学名誉教授  
           委員長代理 松沼 和宏 弁護士  
           委 員 平沢 照雄 筑波大学人文学系教授

### 4. 議事概要

#### (1) 審議事項

- ① 令和元年度国土地理院コンプライアンス報告書(案)について
- ② 令和2年度国土地理院コンプライアンス推進計画(案)について

#### (2) 委員からの主な意見

意 見 ・ 質 問	回 答
<p><b>① 令和元年度国土地理院コンプライアンス報告書(案)について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のコンプライアンス意識の向上について、コンプライアンス・ミーティングのテーマを「OBとの飲食」とした意図は何か。</li> <li>・事業者との適切な対応について、業務委託などで、外国の方との接し方やハラスメントの問題は発生していないか。</li> <li>・入札契約手続きの見直し及び情報管理の徹底について、コンプライアンス関係通報窓口には、院内職員の発注者綱紀保持規程違反についても報告することになっているが、報告者の機密保持はどのようになっているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利害関係者になってしまったOBとの対応ルールについて、再確認するためである。</li> <li>・仕様書では、分かり易い日本語を使用することと定めている。また、外国製品を購入する場合は、日本の代理店を通して契約することになるので、外国企業と直接契約する場合はほとんどないと考える。</li> <li>・内部通報窓口は適正業務管理官になっている。一方、通報者が氏名等を明かしたくない場合には外部の弁護士による外部通報窓口を設置しており、国土地理院に通報が報告される際には、通報者の氏名等が明らかにならないように配慮することとなっている。</li> </ul>
<p><b>② 令和2年度国土地理院コンプライアンス推進計画(案)について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度計画の柱はなにか。</li> <li>・昨今の情勢を鑑み、将来的に働き方改革の観点から計画項目を立てることも検討されてはいるかがか。</li> <li>・講習会やミーティングなど数多くの取組を行っている。合理化の観点から、最低限やらなければならないことを確保しつつ、出来るだけ負担の少ないように考えることも重要である。会議等で集まる機会を捉えて、講習会や研修会を行い負担軽減の工夫をされたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発注者綱紀保持の理解度を深めるため、セルフチェックの改良を行う。</li> <li>・働き方改革については、ワークライフバランス推進本部取組計画を別途作成し検討を行っている。</li> </ul>